

DICOMルーター&コンバーター

# Connecticut pro

自由自在の分岐点。

複雑な運用ルールをシンプルに。  
アレイのDICOMルーター

# Connecticut pro

Connecticut pro はさまざまな DICOM

データを、設定したルールにしたがって

最適な形式に自動変換し、必要なサー

バーに配信するという、ほかに例を見な

いユニークなコンセプトの製品です。

複数の送信先を指定でき、しかも情報編

集の方法や送り先サーバーの選択条件な

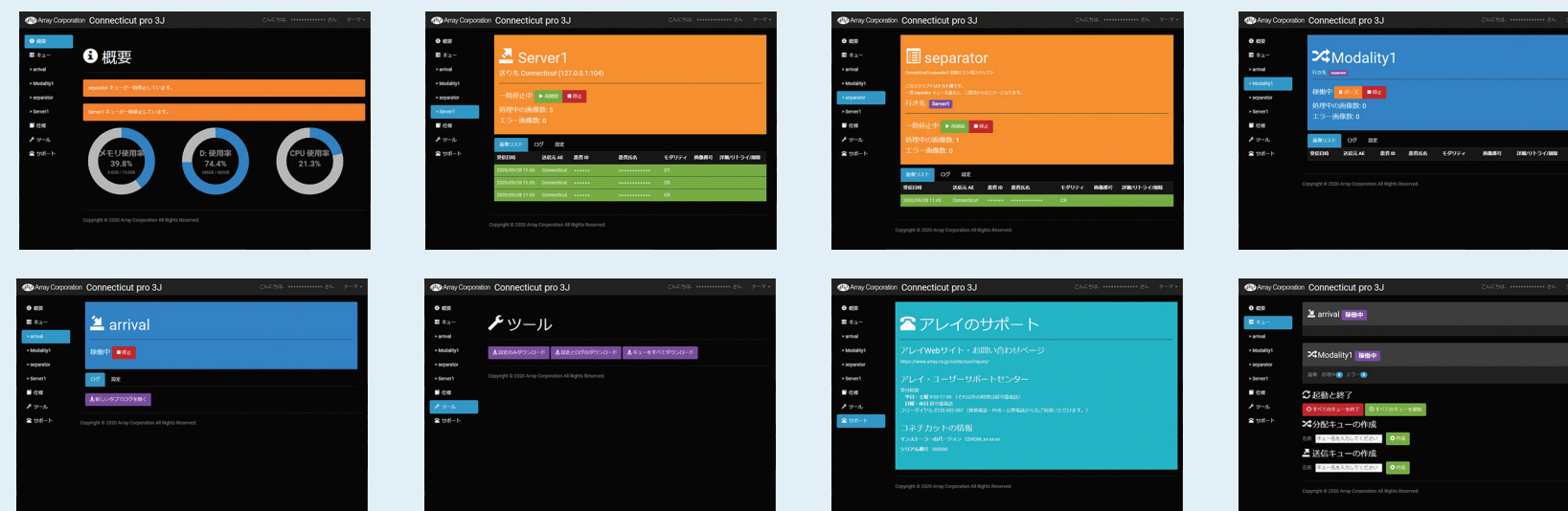
ども強力なスクリプト（プログラム）を

使って自由に設定できます。

複雑な運用ルールも Connecticut pro に

お任せください。

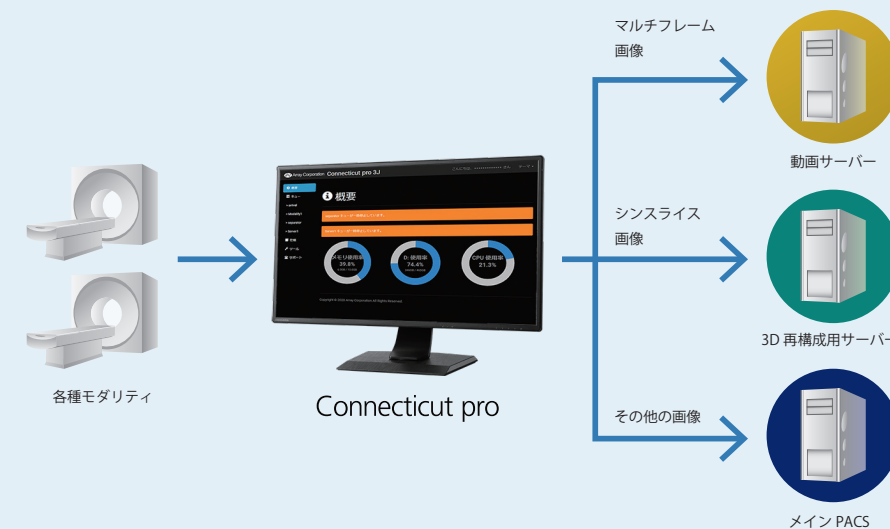
## 操作画面



## 1 DICOM 情報による送信先の振り分け

Connecticut pro では、DICOM 属性の内容に応じて転送先のサーバーを自動選択できます。

たとえばマルチフレーム画像は動画専用サーバーに、シンスライス画像は 3D 再構成用サーバーに、それ以外の画像をメイン PACS に送信するなど、ニーズに合わせて送信先を自由に設定できます。各サーバーとの接続が 1 つにできるのもメリットです。



## 2 HIS/RIS と連携して患者情報を自動修正

モダリティから送信される DICOM データの中の患者情報は、患者 ID 以外の情報が空欄のままであったり、患者名にアルファベットと 2 バイト文字が混在していたりなど、不完全な場合やさまざまな不整合が多く見られます。

Connecticut pro を使うと HIS/RIS 情報とのマッチング処理によって、このような不完全な情報を完全で整合性のある情報に自動的に修正できます。数多くの施設でこの便利な機能をご利用いただいています。



### 【特長・機能】

DICOM Storage SCU/SCP  
DICOM Verification SCP  
ルーティング機能（最大 4 入力・4 出力）  
転送構文（Transfer Syntax）の自動変更  
サポートする形式  
・Implicit VR Little Endian  
・Explicit VR Little Endian  
・Explicit VR Big Endian  
・JPEG Baseline  
・JPEG Extended  
・JPEG Lossless, Non-Hierarchical  
・JPEG Lossless, Non-Hierarchical, First-Order Prediction  
・RLE  
・JPEG 2000  
・JPEG-LS  
web による各種設定

### オプション

属性情報の付加・変更  
FTP による受信・送信  
DICOM ファイルの手動送信  
スプール機能  
リモートメンテナンス  
各種のカスタマイズ  
・画像フォーマットの変換  
・画像ビット数の変換  
・パレットカラーの展開

### 【仕様】

OS： Windows 11 Pro  
Windows Server 2022  
Windows Server 2019（64bit 版）  
CPU： Intel Core i5-12600 または同等以上  
メモリ： 16GB 以上  
ストレージ： SSD 500GB × 2 RAID1 以上  
ディスプレイ： 800×600 ピクセル以上  
表示可能なディスプレイ

セットアップしたハードウェアをご購入の場合、仕様は以下のとおりです。

外形寸法： W175×420×H372mm\*  
質量： 約 7.9kg\*  
電源： 100V（50/60Hz）  
消費電力： 420W  
内蔵メモリ： 32GB  
内蔵ドライブ： 512GB SSD+512GB SSD(RAID1)

\* このほかに、キーボード・マウス・UPS が付属します。



● アレイの製品は充実したサポートプランが用意されています。くわしくは、ご利用の販売店またはアレイまでお問い合わせください。

